

地域人材の活用や学校等との連携による訪問型家庭教育支援事業

訪問型支援を行う地域人材の発掘、養成、活動の場の提供を一体的に行い、スクールソーシャルワーカーや地域の人材、保健・福祉部局等と協働した、家庭教育支援チーム等による訪問型の家庭教育支援体制を構築し、家庭や子供を地域で支える取組を推進する。

平成28年度予算額 28百万円

背景

ひとり親家庭や経済的問題により家庭生活に余裕がなくなっている家庭が増加している。また、地域のつながりの希薄化などによって、子育て家庭は、子育てについて悩みや不安を抱えて孤立しがちな状況にある。こうした中、経済的困難、児童虐待、不登校等の様々な問題を抱え込み、主体的な家庭教育が困難になっている家庭もある。

事業の概要

文部科学省

事業の選定・評価 実施に対する助言
取組の全国展開に向けた検討

委託

都道府県(5箇所)

支援体制の構築



事業全体に係る総合調整、評価・助言
・協議会を設置し都道府県レベルでの関係機関等との連携・協力の推進
・各地域における取組に対する評価・助言

訪問型家庭教育支援員の養成

・各地域における取組の中核となる人材を対象に、必要な知識・ノウハウ等を身につけさせる養成講座を実施

再委託・人材養成

市町村(2箇所)

各地域における訪問型家庭教育支援の実施

